

東日本大震災

①



地震で大津波、原発被害

【メモ】県内で地震や津波で全壊した家屋は約1万5500棟、半壊は約8万4900棟です(今年6月9日現在)。堤防や道路なども壊れました。県内の亡くなった人は4179人(同)で、このうち避難生活で体調が悪化するなどして亡くなった人は2348人でした。

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする大きな地震が起きました。地震の大きさを表すマグニチュード(M)は9.0で、国内観測史上最大級、世界で4番目の大きさでした。福島県でも激しい揺れが起き、最大震度は6強。海から大津波が押し寄せて、大きな被害が出ました。相馬市では高さ9.3以上の津波が観測されました。

大熊町と双葉町にまたがる東京電力福島第1原子力発電所(原発)では、建物が津波をかぶった影響で爆発が起き、放射性物質がまき散らされました。避難した人たちが戻るための地域づくりや、原発の処理など、今も多くの問題が残っています。

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)
